

令和5年度第1回地域医療構想調整会議（圏域連携会議）の開催状況

○地域医療構想調整会議（圏域連携会議）の開催状況

開催日	医療圏	開催日	医療圏
8月29日（火）	北信	9月7日（木）	木曾
9月1日（金）	佐久	9月11日（月）	上小
	諏訪	9月12日（火）	松本
9月4日（月）	飯伊	9月13日（水）	大北
9月5日（火）	上伊那	9月19日（火）	長野

○保健医療計画に関する主な意見

主な意見
<p>【医療従事者の確保】（資料2-2、136ページ～「第8編第2章 保健医療従事者の養成・確保」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師、看護師、病棟薬剤師など、医療従事者の不足が深刻化しているため、医療従事者の確保を着実に進めてほしい。（上小、飯伊、大北） ・ 医師をはじめとした医療従事者の高齢化が進んでおり、その先を見据えた支援策を検討してほしい。（飯伊） ・ 人材確保については、学校をつくるとか定員を増やす取組だけでなく、県外からきてもらうという施策にも力をいれるべき。（上小） ・ 医師確保計画について、より具体的な内容になるよう検討いただきたい。（大北） <p>【医療のデジタル化】（資料2-2、124ページ～「第8編第1章第1節 機能分化と連携」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材不足や救急の課題に対応する意味でも、医療のデジタル化を進めてほしい。（上小） <p>【救急医療】（資料2-2、194ページ～「第8編第3章第1節 救急医療」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の働き方改革により輪番体制は更に厳しい状態。救急を担うに当たってはマンパワーや設備が必要であり、どこに集約するかなどを見据えながら、病床の配置や医師・看護師等の人材の補充等を並行して考えられるよう、医療計画に明記してもらいたい。（上小） <p>【小児医療】（資料2-2、236ページ～「第8編第3章第4節 小児医療」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化が進む中で、住民が安心して暮らせるよう小児救急体制を維持しなければならないが、医師の働き方改革により制約が強まる中で、今後どうしていくのが課題。（松本） <p>【介護との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院が病院として機能するためには、退院先となる介護施設の整備も必要。医療と介護の連携について、もっとスピード感をもって取り組んでほしい。（北信） <p>【データに基づく議論】（資料2-2、69ページ～「第5編 医療提供体制のグランドデザイン」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の医療提供体制を検討していく上では、データを示しつつ、医療機関の意見を聴くようにしてほしい。（松本）